

活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 大賞	空き物件を活用した支援付き住宅事業	生活困窮者の課題の一つである住まいの問題を空家の活用につなげ、生活支援を行う活動。 空家問題の解消と生活困窮者の生活基盤を整えることを目的としている。	生活の基礎である「すまう」ことに真摯に視点を持ち、複合的な課題解決に取り組んでいる。「空き家」「生活困窮」との社会問題を結び付け、公的資金を使わず支援している点が素晴らしい。 支援された人の感想などが示されるとさらに意義の大きさが伝わると考える。
	特定非営利活動法人 抱樸		
ESD 賞	SDGs の視点から生活を見直そう！ ～未来の熊西をよりよくするための「私たちの提案」～	6年生の国語の学習で SDGs の視点から生活を見直すための提案書を作成。提案書は市民センターに掲示、学校前では、SDGs の目標達成を呼びかけるポスターの掲示を行い、地域の方々に呼びかけ、生徒自身も実践者としての意識を高める。	できることから行動に移すという生徒の意識に変化が表れている。地域の ESD 拠点である市民センターを SDGs のハブとして活用し、地域への波及を行っている。 他学年への影響や連携があるとさらに良い。
	北九州市立熊西小学校		
	洞海湾！絶滅危惧植物再生プロジェクト	洞海湾奥にある干潟でみつかった貴重な塩生植物の保全と居心地の良い海辺空間を創造するため、干潟の清掃活動を行う。保全活動と並行して市民が集う憩い空間を創出し、イベント等で地域活性化を図る。	専門的知識と活動を通じ、市民参加型に特化して、環境保全に寄与できている点が良い。関わった学生自身が成長を実感していることが分かる感想があるとさらに良い。
	九州共立大学・TEAM 洞海湾		

「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

別紙 1

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 賞	「竹の環境循環プロジェクト」 Ecology（環境保護）と Economy（経済）の W エコ循環	地域課題となっている放置竹林について、竹が CO2 を吸収する再生産性の非常に高い再生可能資源と捉え、竹を原材料とした商品や技術を開発、実用化で地域産業に展開。地域課題・環境・地域企業に対して三方良しの Ecology（環境保護）と Economy（経済）の W エコ循環、自然とテクノロジーの共生を目指している。	幅広い組織・教育機関との連携、多彩な竹活用方法など、創意工夫と実践力がある点が良い。バックキャストिंग的思考が生かされている。 全国的な課題であり、商品化に向け頑張っ て欲しい。
	一般社団法人森人未来ノ研究所		
	川と森を守り持続可能な社会に繋げる 「竹パウダープロジェクト ～つなげよう、ふるさと『すがお』」	川を守るためには森を守ることが必要であることを理解し、地域での課題となっている放置竹林の問題に取り組んでいる。地域の方々や団体と繋がりながら、竹を活用した野菜づくりに挑戦し、情報発信を行っている。竹を「すがおの宝」にするため、全校生徒で課題解決に取り組んでいる。	河川の環境と森林保全との関係に着目している点が良い。「竹害・竹財」との捉えによりデメリットを解消し、メリットを生かす問題解決思考を育成できる。 他学年への連携や流れといった発展がある とさらに良い。
	北九州市立すがお小学校		
	第三回小倉城竹あかり	農村部で問題となっている放置竹林の竹を竹灯籠、竹紙にし、観光に生かす活動。今回は「世界体操・新体操選手権北九州大会」に合わせて小倉城に飾り、北九州市の PR に寄与した。地域の問題の解決と活性化・資源化を図り、持続可能な社会への意識向上と北九州の「市民力」でまちの活性化を進めたい。	本プロジェクトを通じて様々な世代の人たちが関わり、SDGs の目標に幅広く関連している。北九州の風物詩として定着しつつあり、地方創生の一翼を担っている。 量的・質的成果が示されるとさらに良い。
	小倉城竹あかり実行委員会		

活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 賞	つながる・つなげる・合馬の魅力 ～合馬神楽、農業体験、交流体験～	合馬子ども神楽や竹細工、竹札かけ等の文化体験、稲作や野菜作り等の農業体験学習を通じ、地域との繋がりの中でシビックプライドを育みながら、自分の思いや感謝の気持ちを表現できる児童の育成を目指している。	自然、伝統など地域性のある活動に地元の人たちともに全校で取り組んでいる。学校全体での取り組みとして各学年につながり、モチベーションの維持と継続性が担保されている。 他地域への PR や波及があるとさらに良い。
	北九州市立合馬小学校		
	「北九州もったいないっちゃ！すごろく」を遊んで、北九州の特産物や名所、現代の環境問題について学ぼう！	小学生が遊び楽しみながら、北九州市の特産物や自然名所、現代の環境問題について学ぶことを目的にすごろくを制作。すごろくで遊ぶことで、環境についての学習意欲の向上を図る。制作過程では学生の多面的に考える力などを養いながら、北九州市への理解、関心を高めている。	学生の主体的な活動で、行動・意識の変容が見られる。遊びを通じて北九州の魅力が学習できるところが良い。 すごろくの発展的な活用方法を提示して広げてほしい。
	北九州市立大学 三宅ゼミ		

活動概要及び選考委員による評価【企業部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 大賞	「KAMIKURU」プロジェクト ～紙の循環から始める地域共創プロジェクト～	地域の企業や団体、学校、自治体などから回収した古紙をアップサイクルすることで、紙の循環に新たな価値を提供する。この活動を通じ、多様な関係者によるサーキュラーエコノミーを実現し、さらには障がい者の雇用創出と SDGs の未来を担う人材育成を目指す。	アップサイクルによるサーキュラーエコノミーの実現を目指していることが有意義である。多様な組織・教育機関との連携・支援がなされ、実践内容も多彩である点が良い。北九州独自の視点、課題への関わりを明確にして、進めていただきたい。
	エプソン販売株式会社		
SDGs 賞	適正な廃棄物処理と効率的な資源循環によるサーキュラーエコノミーと働きがいのある職場の実現	塩化揮発技術の粋を極め、適正な廃棄物処理と効率的な資源循環を追求し、地球環境保全・地域社会への貢献に取り組む。 また、安全で働き甲斐のある職場づくりと「真の豊かさ」を実現する人材育成と協働を推進する。	自社の強みを生かしながら環境保全の王道を歩んでいることは持続可能である。社会問題に対し、広く取り組んでいるところが良い。 市内企業など他者への波及を期待したい。
	光和精鉱株式会社		
	環境への取り組み	環境に関わる測定、分析、調査、コンサルタントを行い、環境産業の発展に貢献。また、多くの環境・エネルギー問題解決に向けて、環境分野の人材育成に積極的に取り組み、SDGs モデル都市、環境未来都市としての発展に寄与している。	環境にかかるこれまでの実績が生かされている。本業だけでなく「環境未来都市 北九州市」のために様々な形で地域貢献している。「協働」の具体的な内容・取組をもう少し分かりやすくして示して欲しい。
	環境テクノス株式会社		

活動概要及び選考委員による評価【企業部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 賞	1. 子ども食堂支援 2. 循環型土壌保全 3. 肌荒れトマトの活用	規格外で販売できないトマトを使ったメニューの開発を大学と協働するとともに、食材提供で子ども食堂を支援する。また廃棄されるトマト葉や珈琲カスを混合し植物性堆肥・培養土を製造、無償配布し、CO ₂ 排出量減に取り組む。	食から社会的課題へ実践的な貢献をしている。生産、消費、廃棄(再利用)といった循環の仕組みが確立されている。取り組みを通じた社員の意識や行動の変化が見える化されると良い。
	響灘菜園株式会社		
奨励賞	地域住民の「心のサポーター」めざして	超高齢社会で高齢者が共に支え合えるよう、自社の研修施設を地域住民に無料開放。その他のセレモニーホールも可能な限り地域活動に開放し、災害時の避難所の指定を受けるなど、地域住民の安心の柱になり、地域住民の健康と福祉のための「心のサポーター」役を目指している。	高齢化率の高い北九州市にとっての課題解決の一つであり、SDGs の3つの側面から地域に根ざした様々な活動を行っている。社会貢献から社会連携へと発展させていきたい。
	株式会社サンレー		